

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

① 事務事業名 環境衛生対策事業						
担当課・係名 町民生活課 環境衛生係						
予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	04	自然を大切に生かすチカラ
	款	04 衛生費		中分類	02	のどかで安心できる暮らしの維持
	項	01 保健衛生費		小分類	03	生活関連廃棄物の適正な処理
	目	03 環境衛生費		重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>		
② 事業費の推移						
総事業費（千円）		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
		1,018	1,005	874	806	1,305
財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	1,018	1,005	874	806	1,305
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。						
③ 対象（誰、何を対象にするのか）						
町内全域・全町民						
④ 目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
豊かで健やかな住環境の中で生活できるよう、自然環境の保全、環境美化の意識の高揚を図り、ごみの減量とリサイクル資源の適正処理及び資源循環型社会形成を推進する。						
⑤ 事業概要						
ごみの容器包装リサイクル、資源の適正な処理及び資源循環型社会形成の推進 ごみ収集カレンダーの作成 不法投棄されたごみの処理・処分 公害対策・悪臭被害調査						
⑥ 事業を取り巻く状況の変化について						
年々ごみに対する認識は高まっている。 町内における養鶏施設よりの悪臭公害対策が急務とされている。						
⑦ 根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器包装リサイクル法、宮城県悪臭防止条例等						
⑧ 事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
指標名			H28	H29	H30	
A	リサイクル資源の 回収量 単位： kg	実績値	161,339	113,724	109,150	
		目標値	0	200,000	200,000	
定義 大崎地域広域行政事務組合に搬入された資源物の回収量						
B	不法投棄ごみ処理 委託料 単位： 円	実績値	408,240	760,320	353,160	
		目標値	0	300,000	300,000	
定義 不法投棄されたごみの処理委託料						
⑨ 事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
指標名			H28	H29	H30	
A	単位：	実績値	0	0	0	
		目標値	0	0	0	
定義						
B	単位：	実績値	0	0	0	
		目標値	0	0	0	
定義						

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	安全で健康な町民の生活環境の維持のため、安全的に実施する必要がある。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	町が安定的、継続的に実施する必要がある。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	衛生組合と連携のもと効率的に事業を展開している。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	・不法投棄における処理費用は減少となったが、依然として不法投棄がなくなる状態となっていない。

⑪	課長総括評価	<p>廃棄物の処理は原則投棄者の責任において行われるべきものであるが、不法投棄物においてはその投棄者を特定することが困難な状況にある。</p> <p>そのため、不法投棄物の処理にあたっては、可能な限り職員が分別し、大崎地域広域行政事務組合の処理施設で処分し、業者への委託料を削減するよう努めなければならない。が、不法投棄が一向に根絶できないため、今後も事業の継続は必要と考える。</p>
	合計点 50	
	今後の方向性	改善の上継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①		事務事業名		一般廃棄物最終処分場管理事業				
		担当課・係名		町民生活課 環境衛生係				
予算 科目	会計区分	一般会計		基本計 画体系	大分類	04 自然を大切に生かすチカラ		
	款	04 衛生費			中分類	02 のどかで安心できる暮らしの維持		
	項	01 保健衛生費			小分類	03 生活関連廃棄物の適正な処理		
	目	03 環境衛生費			重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>			
②		事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
		総事業費（千円）		751	747	700	695	998
財源 内訳	国県支出金		0	0	0	0	0	
	その他特定財源		0	0	0	0	0	
	一般財源		751	747	700	695	998	
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。								
③		対象（誰、何を対象にするのか）						
		一般廃棄物最終処分場の適正な維持管理の運営						
④		目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
		埋立が終了したので、最終処分場の廃止に向けた基礎データの蓄積及び廃止までの適正な維持管理の徹底						
⑤		事業概要						
		水質検査等のデータ蓄積及び適正な維持管理 ・地下水ダイオキシン類調査（年1回） ※平成30年度までは年2回実施 ・地下水及び保有水水質検査（年1回） ※平成30年度までは年2回実施 ・上流、下流の電気伝導率検査（年8回） ※平成30年度までは年16回実施						
⑥		事業を取り巻く状況の変化について						
		・一般廃棄物最終処分場は埋立を終了した状態にあり、県に対し平成14年度にその終了届を提出している。 ・将来廃止の工事が必要なる見込（工事費 約54,000千円） ・廃止をする以前に6月に1回の調査が義務付けられており、これまで年2回の調査をしていたが、課長会議にてしばらくは廃止の工事は行わないこととなったため、1年に1回の調査へ変更となった。						
⑦		根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令						
⑧		事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
		指標名		H28	H29	H30		
A	水質検査（電気伝導率）	単位：回	実績値	16	16	16		
			目標値	16	16	16		
定義								
B	井戸水・保有水ダイオキシン検査	単位：回	実績値	2	2	2		
			目標値	2	2	2		
定義								
⑨		事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
		指標名		H28	H29	H30		
A		単位：	実績値	0	0	0		
			目標値	0	0	0		
定義								
B		単位：	実績値	0	0	0		
			目標値	0	0	0		
定義								

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	処分場の設置者として、適正な維持管理をしなければならない。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	すでに閉鎖しているが、維持管理（水質検査）に要する経費は継続している。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	廃止に要する経費を考慮すると、閉鎖の状態を維持した方が経費的には抑えられる。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	目標値どおり毎月2回の電気伝導率検査と年2回の各種水質検査を実施し、基礎データ蓄積及び適正な維持管理を実践している。

⑪	課長総括評価 廃止に要する経費を考慮すると、閉鎖の状態を維持した方が経費的には抑えられる。
合計点 50	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		公衆衛生事業				
	担当課・係名		町民生活課 環境衛生係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	04 自然を大切に生かすチカラ	
		款	04 衛生費		中分類	02 のどかで安心できる暮らしの維持	
項		01 保健衛生費	小分類		03 生活関連廃棄物の適正な処理		
	目	03 環境衛生費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		280	280	280	280	280
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	280	280	280	280	280
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町内全域							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
⑤	事業概要						
町衛生組合連合会に対する補助事業 鳴瀬川水系公害対策協議会会費							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
色麻町補助金等交付規則							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	不法投棄巡回パト ロール回数	単位：回	実績値	7	6	7	
			目標値	0	7	7	
定義	衛生組合長による不法投棄巡回パトロールの実施回数						
B	地域環境美化活動 実施地区数	単位：地 区	実績値	25	25	25	
			目標値	25	25	25	
定義	町内の幹線道路等ごみ拾いや清掃活動を実施した地区数						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	環境保全を維持のため、定期的実施する必要がある。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	継続的に実施する必要がある。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	衛生組合と連携を図り、定期的実施している。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	衛生組合長を中心に各行政区における清掃活動によって、環境保全意識の向上が図れたのではないかと推察する。

⑪	課長総括評価 合計点 50	地域の環境保全のためには住民の協力が不可欠であり、区長をはじめ地区住民の環境保全意識向上のための事業を継続する。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		大崎地域広域行政事務組合 負担金 (斎場)				
	担当課・係名		町民生活課 環境衛生係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	04 自然を大切に生かすチカラ	
		款	04 衛生費		中分類	02 のどかで安心できる暮らしの維持	
項		02 清掃費	小分類		03 生活関連廃棄物の適正な処理		
	目	03 環境衛生費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費 (千円)		2,979	2,979	3,366	3,366	4,917
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	2,979	2,979	3,366	3,366	4,917
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象 (誰、何を対象にするのか)						
町内 (大崎広域) 全域。							
④	目的・意図する成果 (どのような成果をもたらしたいのか)						
広域化に伴い負担金の軽減が図られた。							
⑤	事業概要						
大崎地域広域行政事務組合への斎場費分運営負担							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
今後、斎場の統廃合及び新設計画のため、負担金の増額が見込まれる。							
⑦	根拠法令等 (法律・条例・要綱等)						
大崎地域広域行政事務組合規約							
⑧	事業の活動指標 (事業の活動量を示す数値)						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	単位 : —	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義	設定困難						
B	単位 :	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標 (事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	単位 :	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位 :	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	安全で健康な町民の生活環境の維持のため、安定的に実施する必要がある。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	効率性との調和を図りながら対応する。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	町民サービスの向上が図られた。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	事業の性格上成果指標は把握できない。

⑪	課長総括評価 大崎広域行政事務組合が計画している施設整備計画は多額の予算を伴うことから、適切に進捗するよう協議していく必要がある。
合計点 50	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		大崎地域広域行政事務組合 負担金 (じん芥)				
	担当課・係名		町民生活課 環境衛生係				
予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	04	自然を大切に生かすチカラ	
	款	04 衛生費		中分類	02	のどかで安心できる暮らしの維持	
	項	02 清掃費		小分類	03	生活関連廃棄物の適正な処理	
	目	01 じん芥処理費		重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>			
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費 (千円)		64,302	64,302	66,521	66,521	64,835
財源 内訳	国県支出金		0	0	0	0	0
	その他特定財源		0	0	0	0	0
	一般財源		64,302	64,302	66,521	66,521	64,835
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象 (誰、何を対象にするのか)						
	町内 (大崎広域) 全域						
④	目的・意図する成果 (どのような成果をもたらしたいのか)						
	一般廃棄物の処理及び資源化・適正な処理を行なった。また、広域化に伴い負担金の軽減が図られた。						
⑤	事業概要						
	大崎地域広域行政事務組合へのごみ処理費分運営負担						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	令和元年度より新リサイクルセンターが稼働した。 今後、クリーンセンターの統廃合と新設により負担金の増加が見込まれる。 ・大日向クリーンパークの残余年数が令和10年までとなり、最終処分場の新設のために候補地選定が3～4年以内に実施される。						
⑦	根拠法令等 (法律・条例・要綱等)						
	大崎地域広域行政事務組合規約						
⑧	事業の活動指標 (事業の活動量を示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
A	単位: —	実績値		0	0	0	
		目標値		0	0	0	
定義	設定困難						
B	単位:	実績値		0	0	0	
		目標値		0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標 (事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
A	単位:	実績値		0	0	0	
		目標値		0	0	0	
定義							
B	単位:	実績値		0	0	0	
		目標値		0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	分別の徹底によりごみの減量化を推進し、更には資源物回収され生活環境が維持される。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	事業の性格上成果指標は把握できない。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	広域的な統合により、経費削減と維持管理が徹底した。

⑪	課長総括評価 合計点 50	分別の徹底によりごみの減量化をさらに推進されたい。施設整備計画が適切に進捗するよう構成自治体等と協議していく必要がある。
今後の方向性	<input type="text" value="現状のまま継続"/>	

⑫	二次評価	
今後の方向性	<input type="text"/>	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		大崎地域広域行政事務組合 負担金（し尿）				
	担当課・係名		町民生活課 環境衛生係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	04 自然を大切に生かすチカラ	
		款	04 衛生費		中分類	02 のどかで安心できる暮らしの維持	
		項	01 保健衛生費		小分類	03 生活関連廃棄物の適正な処理	
目		03 環境衛生費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
総事業費（千円）			40,495	40,495	29,986	29,986	30,182
財源 内訳	国県支出金		0	0	0	0	0
	その他特定財源		0	0	0	0	0
	一般財源		40,495	40,495	29,986	29,986	30,182
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町内（大崎広域）全域。							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
一般廃棄物のし尿処理費分が広域化に伴い負担金の軽減が図られた。							
⑤	事業概要						
大崎地域広域行政事務組合へのし尿処理費分運営負担。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
大崎地域広域行政事務組合規約							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：—	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義	設定困難						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	町民の住環境維持のため、安定的に実施する必要がある。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	事業の性格上成果指標は把握できない。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	広域的な統合により、経費削減と維持管理が徹底した。

⑪	課長総括評価 町民の住環境維持のため、今後も安定的に実施する必要がある。 合計点 50
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	